

令和7年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	学年	2	類型	カレッジコース
教科書	新 論理国語			副教材	新 論理国語 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4						学習のねらい 1学期は、「他者」をテーマとした文章を読み、「社会に対してどのように向き合っていくことが必要なのか」考えます。また、「言葉・言語」をテーマとした文章を読み、言葉自体を見つめ直し、さまざまな資料を用い、飛車の考え方を読み取ります。 2学期は、「経済」をテーマとした文章を読み、筆者の意図について、文脈から想定されるものについて考えます。また、「働くこと」をテーマにした文章を読むことで、労働に対する認識を深めるとともに、文章の中でどのように情報が用いられるのかを学びます。 3学期は、「グローバル化」をテーマとした文章を読み、言葉として知るだけでなく、これらが何をもたらすことなるおかにについて、認識を広げ、これからの社会に生きるための考え方の基礎を形成していきます。
		1 論点を整理するために	若者に友達プレッシャー 論理の展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。	○	◎		
			〃	○	◎		
	5		自分を捉え直す 文章の効果的な組み立て方について理解を深めさせる。	◎	○		
			〃	◎	○		
			中間考査	◎	◎		
	6	2 正しく推論するために	一人で爆笑 言葉のもつはたらきに注意して本文を読解させる。	◎		○	
			カタカナ語は享受すべきか 本文の構成と筆者の主張について理解させる。	◎		○	
			本文から読み取ったことを根拠に、自分の考えをまとめさせる。	○	◎		
			的確に伝える 効果的な段落の構成や論の形式について理解を深めさせる。	◎	○		
	7		〃 期末考査	◎	◎		
		3 事例の意味を探るために	それぞれのしっくりくる言葉 本文における事例と順序を整理し、構成の効果を理解させる。	◎	○		学習の目標 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにします。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指します。
			主張の妥当性や信頼性を吟味して本文を解釈させる。		◎	○	
2 学期	8	3 事例の意味を探るために	多様な視点から考える 文章の構成や展開の仕方について理解を深めさせる。	◎		○	
			用いられている事例の役割や効果を捉えさせる。	○	◎		
		4 構成を吟味し説得力を高めるために	落語の中の経済学 推論の仕方について理解を深めさせる。	◎		○	
			〃	○	◎		
	9		〃	○	◎		評価の観点 知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
			中間考査	◎	◎		
			〃				
			ホンモノのおカネの作り方 文章の構成や展開の仕方について理解を深めさせる。	◎		○	
			書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めさせる。	◎	○		
	10		〃	◎	○		
		5 信頼性を吟味するために	なぜ私たちは労働するのか 文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。	◎	○		
			〃	○	◎		
			〃		○	◎	思考・判断・表現 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	11		「すべり台社会」と「溜め」 用語を理解するとともに、本文の構造をまとめさせる。	◎	○		
			〃		◎	○	
			〃				
	12		期末考査	◎	◎		主体的に学習に取り組む態度
			立場や論点を明確にする 文章の構成や展開、説明の仕方について認識を深めさせる。	◎	○		
			〃		○	◎	
3 学期	1	6 隠れた前提を探るために	地球上の「旅人」 筆者の表現の特徴や主張をまとめさせる。	◎	○		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
			論理の展開と書き手の意図との関係について、多面的な視点から考える。	○	◎		
			〃	◎		○	
			〃		○	◎	
	2		誰かの靴を履いてみること 筆者の体験と主張の関係を整理させる。	◎	○		備考
			〃		◎	○	
			本文と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえさせる。	○	◎		
			〃		○	◎	
	3		学年末考査	◎	◎		
			立場の異なる読み手を説得する 書く内容に合わせた適切な言葉の用い方について理解させる。	◎		○	

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【「論理国語」の目標】

- 漢字力をつけよう。
 - ・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとるつもりで頑張りましょう。
 - ・希望者を募り、年3回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
 - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
 - ・いろいろなジャンルの本(評論文)を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
 - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 教科書を読みます。
 - ② 出てくる漢字や難語句について、辞書を用いて調べ確認します。
 - ③ 本文を読解します。
 - ④ 学習課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- できれば国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 思考力、判断力や表現力を養うための発展学習を行います。主体的に取り組みましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや学習課題ノート、プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。
- 教材から学んだことや得た知識、考えたことなどをまとめておきましょう。

【その他】

- 将来進路に関わって、小論文が必要になる人も多いと思います。気になった新聞記事を貼ったり、気に入った文章などを書き留めたりするノートを一冊用意すると良いでしょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。			
評価の規準	1 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等		
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等		
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等		
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価		